

**【Q：リスク1万円リワード2万円の場合の  
勝率は何%でしょう？】（理論値で）**

**⇒編集後記で**

~~~~~

どうもゆうです！

さてさて、昨日は以下の音声プレゼントをお渡ししました～

私自身この数年で大体9桁後半を稼いで来たわけですが

その中で色々やっていく中で

富裕層の方や、自分自身の経験で知ったことってのが

この音声の内容ですね～

たぶん「今俺は月500万円稼げている」とかそういう読者は

これ聞いて「うん、そうだよな、当たり前に分がやってることだ」

と思うだろうし、

逆に稼いでいない人は

「この思考とか考え方全然持っていないな」と気づくと思います。

いわゆる「実験」する考え方が大事だってことなんだけど

インターネットが出てきてこの

「実験＝検証とかテスト」の数を効率的にこなせるようになってきてしまっ  
た

んだけど、

その結果・・・

「実験する人はどんどん億万長者に」

「その実験の意味を理解してない人は貧乏に」

みたいのが進んでしまってるわけで

I T 革命ってのは格差を広げるものなんでしょう。

↓↓

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

【音声プレゼント】資本主義でお金持ちになる人は実験をする  
「研究者思考」を持っている？

MP 3 音声の直リンク

⇒ [http://fxgod.net/onsei/present/kenkyusha\\_shikou.mp3](http://fxgod.net/onsei/present/kenkyusha_shikou.mp3)

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

昔だったら検証するにしても、いちいち

ろうそく足を

自分で作っていた時代なんかもつい数十年前はあったわけですが

今の時代なんかは過去チャートの分析するにしても

簡単にデータ引っ張り出して検証・実験できてしまうわけで

そういう意味ではこんなに実験する人が有利な時代はなかったんでしょう。

これからどんどん実験という名前の検証とテストをする人が

お金持ちになる時代ですね。

それで、今日はズバリ

【リスク1万円リワード2万円のときの勝率は？】

について考えます！！

これ、即答できないとまずい話題なんですけど

たぶんこれもお金稼いでる人は即答レベルの問いであるし、

逆にそうじゃない人は・・・

**今から学ぶ必要がありますね！**

**編集後記で！**



**【資本主義下の『お金の増やし方』】**

**についての音声 MP3**

⇒ <http://fxgod.net/onsei/business/okanenofuyashikata.mp3>

(MP3 音声なのでスマートフォン等でも再生できると思います。  
30分くらい)



☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

**【ゆう音声プレゼント】**

**【「負けない技術」について考える！】**

⇒

[http://www.fxgod.net/a/groups/2522992/makenai\\_skill\\_mp3/](http://www.fxgod.net/a/groups/2522992/makenai_skill_mp3/)

(MP3 音声です♪スマートフォンでもお聞きいただけますので  
気軽に聞けるように後ろに BGM も入れておりますので  
移動中や寝る前などなど、好きなときにお聞きください♪)

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆  
☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

【ゆう音声♪】なぜアメリカには国民の3大義務がないのか？

⇒ [http://www.fxgod.net/a/groups/2522992/us\\_sandaigimu/](http://www.fxgod.net/a/groups/2522992/us_sandaigimu/)

(音声MP3ですのでスマホでもお聞きいただけます♪  
また音質も調整してるので聞きやすくしております～)

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

**【新・ゆう音声プレゼント】**

**「負けないポートフォリオ」を組むための  
学校では絶対教えてくれない方法とは？**

⇒

**[http://www.fxgod.net/a/groups/3448641/makenai\\_portfolio/](http://www.fxgod.net/a/groups/3448641/makenai_portfolio/)**

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆



★☆☆★☆☆★☆☆★☆☆音声プレゼント★☆☆★☆☆★☆☆

<塾とか教材をどう活用すべきか?>にも関連します

「判断」を繰り返す という考え方

<http://fxgod.net/onsei/fx/hatten/handankurikaeshi.mp3>

(30分くらいです！)

音楽付きにしております♪スマートフォンでも聞けます♪)

★☆☆★☆☆★☆☆★☆☆★☆☆★☆☆★☆☆★☆☆★☆☆★☆☆★☆☆★☆☆

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

**【音声プレゼント】 これでモチベーションコントロールできますよ！**

**<http://fxgod.net/pdf/present2015.pdf>**

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆ **音声プレゼント** ☆☆☆☆☆☆☆☆☆

**日本の教育システムの大きな欠点とは？**

⇒

**<http://www.fxgod.net/onsei/business/20saideowarukyouiku.m>**

**p3**

(MP3 音声なのでスマホでも聞けます♪  
音楽付きです♪)

★☆☆★☆☆★☆☆★☆☆★☆☆★☆☆★☆☆★☆☆★☆☆★☆☆★☆☆★☆☆★☆☆★

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

奴隷的人類の思考形態と

金持ち層の思考形態の違いとは??

大体50分弱の音声です。

通勤途中、運転途中、寝る前などに

お気軽に聞いてくださいね～

【何でも成功する人たちの共通した思考方法の特徴とは??】

⇒ <http://fxgod.net/onsei/business/kanemochishikou.mp3>

(MP 3 音声なのでスマートフォンでもお聞きいただけます)

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆音声プレゼント☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

「価値をすることでお金持ちになる」という話をしました。

例として「トヨタのプリウス」とか「野菜ジュース」とか

「くら寿司」の話をしました。

【「価値=Value」をすることでお金持ちになる】

⇒ <http://fxgod.net/onsei/business/kachihaokane.mp3>

(スマートフォンでも聞けます♪)

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

【音声プレゼント】

習慣がお金を作る

「習慣こそ最強！」

<http://www.fxgod.net/onsei/business/shukansaikyo.mp3>

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

=====**編集後記**=====

さてさて、今日は

**Q：【リスク1万円リワード2万円の場合の勝率は？】（理論値で）**

という件名にしたのですが、

これ結構大事な考え方なので今号で扱おうかな〜と。

というのが私ゆうも全部独学ではなくて本当に素晴らしい

投資やビジネスの先生に恵まれていたんだけど

そういう先生がたに上記のようなことも教わったわけですね。

ちなみに今回の内容は 数十万円のFX 塾の根幹の考え方

でもあるのですが、

この考え方を基軸にしていくと単純に

お金増える確率ってのが上がっていくって話です。

それで早速ですが・・・

**Q：【リスク1万円リワード2万円の場合の勝率は？】（理論値で）**

ということですが

FXの場合だと

ここでは 例えばストップが100 PIPSで

利益確定のリミットが200 PIPS

みたいにしてOCO注文でほったらかした場合の勝率、

のことになりますね。

さあこれは大体何%でしょう??

実はこれあまり答えられる人がいないってのが

私が最初投資塾に入ってびっくりしたことなんです

(というのは中学校の数学だから)

そう、これは33.33%ですよ。



一応、もっと現実的に言えば証券会社で手数料という

名前のストップ狩りとか謎のスプレッド拡大とか

実際はいまだにあつたりするわけですから

そう考えると勝率はもっと31%とか32%あたり

もしくは30%いかないくらいに

なるでしょうが

いずれにしてもリスクリワード1：2の場合、

大体30%ちよつとなわけです。

あなたがリスク1万円、リワード2万円の

トレードを仕掛けたとしたら、

大体勝率は33%とか32%なわけですね。

これはリスクリワード1 : 5ならば

大体勝率は16.6%くらいです。

逆にリスク1 : リワード1ならば

その場合の勝率は50%ですね。

ちなみに計算方法は極めて簡単でして

リスクリワード1 : 2の場合だったら

100割る (1 + 2) をするだけですね。

それでそうすると33となりますが、

それに1をかけたら勝率になるし、

負け率ならそれに2をかけたら負けの確率です。

これ・・・かなり大事な計算式ですね～

それで今というか長く

稼いでる人たちなんかは

Q：【リスク1万円リワード2万円のときの勝率は？】（理論値で）

みたいな質問は「はい、理論値は33%かもしくはは実際手数料が

かかってもう少し下がるよね」

くらいに結構即答できるものですが

そうじゃない場合、すなわち「感覚トレード」の人だと

あまりこの辺答えられないわけです。

普段から確率について考えていないから。

だからこれがすごい大事な知識なんですね～

それでじゃあ「投資って何だ」ってことなんですけど

リスクリワード 1 : 2 でやはりリスク 1 に対して最低 2 は取るべき

という考え方はあるのですが

(勝率がそこまで高くなくてもお金持ちになる、わけなので

継続性がある。逆にリワード比率を下げて

勝率をずーっと維持していかないといけない状況のほうが

心理的にしんどいという話です)

これはリスク 1 万円に対してリワード 2 万円みたいな考え方ですね。

資金が大きくなっても

リスク100万円に対してリワード200万円

で比率は一緒です。

それでここで投資するのは、

単純に上記のリスクリワード1：2の理論勝率ってのが

ありますけど

この理論勝率が33%を超えれば、資産増えてお金持ちになるし、

そうじゃなければお金減って貧乏になるよ～

っていう単純にこれだけなんですね。

これはビジネスでも一緒ですよ。

それで普通にランダムにさいころなんかで売り買いを

決めた場合、

大体回数を増やすことによって、

このリスクリワード 1 : 2 の場合

勝率が 33% くらいになるわけですが

これが単純に 34% の勝率になってそれ以上が継続していれば

金持ちになっていき、

32% の勝率になってそれが継続すれば

お金減っていくってだけですよね。

この確率統計を考えると、

極めてシンプルな世界と言えると思います。

それで、ここで「投資家の仕事」ってのが見えてくるわけですが

投資家の仕事って、例えば

毎日テクニカルチャートをにらめっこして

うーん、とうなったり、一喜一憂することだろうか？

というと違うわけですね。

それは上記のリスクリワード 1 : 2 の理論勝率が 33% ですけども

投資家の仕事は

~~~~~

「本来の理論勝率という確率を歪める（ゆがめる）のが仕事だ」

~~~~~

ってことなんです。

これは私ダイスケさんや根崎さんって方に

学んだことでもあるんだけど

結局・・・この理論勝率を「故意に自分の好きなように歪める」

~~~~~

ってのが投資家の仕事なわけですね。

~~~~~

普通にさいころに任せて、2つのさいころの目の和が

奇数だったら買い、偶数だったら売りみたいにしたら

そのランダムさで勝率は33%くらいなんだけど

これを単純に40%でも50%でもいいんだけど、



そっち側に「確率を歪める」ことができさえすれば・・・

~~~~~

実はお金って増えるんです。

~~~~~

これが実はなんだかんだ数億円どころかライフタイムの人生の

スパンを考えたら数十億円～数百億円の利益余剰が出る

考え方なんだけど

要するに 投資家やビジネスマンの仕事ってのは

「確率を自分たちの都合のよいように歪める」

仕事なんですね。

そう、今日は上の

Q:【リスク1万円リワード2万円の場合の勝率は?】(理論値で)

の問いの後その話を書きたかったわけでありませう。

というのはちょっとした自慢ですが最近私の読者さんは

儲かる人が多くてですね、

たぶんこの考え方知ってもらったら

もっと長期で儲かる人増えるはずですから

それで書いてるわけです。

ちなみにこれはキレイゴトじゃなくてやっぱり

私のメルマガから色々購入いただく方も多いんですが

大体が稼いだお金の一部で経費として買ってくれてたり

する人が多くて

まあそれでそんなところもあり、

それでもっと稼げる知識を~ってことでこういうことを

書いてるわけです。

それで結局分かってくるのが

稼ぐ人ってのは「確率を歪める人」なんですね。

~~~~~

(そのために実験、検証するわけ。)

これはどういうことか？というと本来の

ランダムに

リスク（損きり） 1 0 0 PIPS

リミット（利益確定） 2 0 0 PIPS

とやれば勝率は33%くらいであるけども

ここの勝率をあげるために

すなわち理論値の本来の元勝率を「自分勝手に歪めるために」

プライスアクションのピンバーとか

ダウ理論使ったりとか

エリオット波動使ったりとか

ライン分析使ったり

などの原理原則や自然法則を利用した手法が

存在してるっただけなんですね。

だから本来確率がゆがめられさえすれば、

なんでも手法はよいのす。

これがよく金持ちたちがやたら発言するけど

初心者のうちは意味不明な

「手法は何でも良いんだけど」という意味なんです。

それでここで考えてほしいのですが

「リスクリワード1：2の場合の

負ける率はどれくらいだろう？」

ってことですけど

これは同じく負ける率は

~~~~~

66.66%くらいなわけです。

~~~~~

それで重要なのが リスクリワード1 : 2の場合

負ける確率のほうが理論値では高くなるわけですね。

ここで重要なのがその「負ける確率66.66%をいかに

~~~~~

縮小させるか？」

~~~~~

という考え方になりますよね。

~~~~~

結局 勝ちと負けしかないのでしたら

(建値ストップを使うなどの  
プラスマイナスゼロのイーブンを設定しないならば)

負けの確率を減らせば

~~~~~

勝ちの確率は増える、

~~~~~

わけです。

だから実は投資家ってのは面白い職業で

この理論値の勝率とか負ける確率を操る仕事

~~~~~

であって

それが面白いところだと思います。

それで本来、勝率を伸ばそう〜〜としても

なかなか伸びないものなんですが

ただし視点を改めて

「負ける確率を減らそう〜」とやると、

結構その負ける確率は減らせるわけですね。

視点の違い、つてのが重要になる。

それでここでFXのストップを事例に

考えて見ますけど

OCO 注文で



ストップ100 PIPS 利益確定200 PIPSと

設定して

リスクリワード1：2で設定してるケースで

考えますが、

これは何も考えないで設定すれば

(ちなみに多くの方がそのような設定をしてる)

これは理論勝率は33%ですが

実際は手数料なりがかかったりして

30%前後になってしまうわけですね。

しかし・・・例えばですが

そのエントリーしたポイントがあつて

それが買いだとしたら OCO 注文を出すとすれば

下 1 0 0 PIPS に損失確定ポイントがあり

上 2 0 0 PIPS に利益確定ポイントがあつたりするわけですが

この「ストップまでの 1 0 0 PIPS までの間に」

「沢山の機能することが期待できる

水平線やトレンドラインやフィボナッチの

サポートがあつたりして」

なおかつ

「上200 PIPSまでの間に」

「特に強そうなレジスタンスがあまり見受けられない状態」

でしたらどうでしょうか？

そうですね、これは検証していると分かってくること

ですけど

そのエントリー価格の下にやたら

サポートがあったら

それがまるで「ストップに到達する盾」みたいに

あなたのポジションのボディーガードみたいに

機能してくれるんだけど、

それが価格をストップに到達する前に

何度も何度も跳ね返してくれたり

するわけです。

これ超大事な考え方ですよ。

この状態だと「ストップ価格に到達するのが守られてる」

状況と言えますよね。

それで一方ストップ価格ってのは

フィボナッチやらサポートであったり

もしくは他のエリオットなんかの原理原則なんかに

守られていたりするわけですが

そこで「利益確定に到達するまでの200 PIPSまでの距離」

の間に

レジスタンスが極端な話・・・何もなかったら・・・

勝率ってのは本当に33%でしょうか??

そう、実はこういった場合の設定ができるポイントだと

本来のリスクリワード1：2の理論勝率33%に

「ゆがみ」を生じさせられるんだけど

こういう設定方法をする、

理論勝率が40%、50%台に伸びたりすることが

大変多いわけですね。

だから重要なのが「負ける確率を減らす」

っていうことで

要するにストップを入れて負ける

= 価格が一度でもポジション保有中にストップ価格に到達するから

負ける

わけですが

そのストップ価格まで現在価格が到達するのを

「防衛する防衛隊」がいれば

そのストップにはなかなか価格到達しないわけです。

だから「負ける確率を減らす」みたいな考え方が

大変大事でして、

その場合だとその損きり価格に到達するまでに

めっちゃたくさんの障害がある、

っていう風に設定すると

この「確率に歪み」を生じさせられるわけですね。

ちなみに「ライン」なんかもありますが

実のところ「ラインにも強弱」ってのがあって

例えばラウンドナンバー付近のラインは強かったりしますが

こういう 損きりまでの100 PIPSまでの距離に

強いライン1本

利益確定までの200 PIPSまでの距離に

弱いライン1本

みたいな状況だったら

やはり勝率は33%より高くなりやすいわけです。

(※ ちなみに「15分足の安値ライン」と

「日足の安値ライン」だと当然後者が 統計データが

一杯入って形成された安値ですから、



後者のほうが強いです。

短い足のラインは極めて弱いです。

ラウンドナンバー付近のラインが強い傾向があるのは

これは日足とか週足などでも意識されてたりするから。)

だから実はこの考え方が本当の聖杯みたいなのところがあって

結局

「本来の

リスクリワード ○ : ○の理論勝率・理論値の負け確率があるけど

その理論値の負け確率を減らすように工夫すれば

お金は増える」(可能性が極めて非常に高い)

ってことです。

これは私自身がたどり着いた答えというよりは

めっちゃ金持ちな人たちに色々教えてもらった話しなんだけど

まあ今でも役にたっている考え方です。

私は自分が誰かに学んだ考え方をあたかも自分のオリジナルのように

言うのはしてませんで、

(こういう人が日本人は多い。なぜだ・・・)

ちゃんと学んだ人の名前なんかは

書いてますから、良かったらそういう私が名前書いてる

素晴らしい講師たちも

チェックしてみてください。

それで特に大事なのが

「ストップまでの距離」に到達するよりも先に

「利益確定までの距離」の目標に到達すればよいのですが

その際にストップまでの距離に

「沢山の障害」を用意させるのが正しいですね。

これを「ストップの根拠」と言いますが、

例えば プライスアクションが分かりやすいので例ですが

「ピンバーが出て買い」というルールは有名ですよ？

根崎さんとかが有名にしたんだけど。

が、これ・・・時にはやはり

リスク1リワード2の場合、

ストップにかかってしまうわけですが

「じゃあそのストップにかかる確率を狭めるためには？」

どうすればよいのでしょうか。

そう、例えばピンバーが MA 20でも25でも75でもいいでしょうが

それらにタッチしたピンバーの場合、

買いの場合高値からエントリーだけでも

そこでストップは

その下ひげで MA にタッチしてるピンバーだから

そのMAと髭の下、にストップを置いたりするわけです。

それで結果・・・これは「普通のピンバーより

圧倒的にストップに到達しづらくなる」

んだけど

仮に価格が急落してきても、なかなかMAだったりを敗れないで

価格は結局上昇・・・することが多いわけですね。

検証してみてくださいね。

んでこれは

1ピンバーの安値

2 MA

という2つの防御壁があつたりするので

ストップにかかりづらくなるっていう仕組みなんですけど

これを「ストップの根拠」と言いますね。

「ストップの根拠が2つ、3つあると良い」

って良く言うんですけど

良いというか、

ないとマズイといえるかもしれません。

~~~~~

よく「根拠を持ったトレードを」と言いますが

それをもっと詳しく言うと

「損失確定に至る確率が低くなるような

根拠を持つ」ってことです。

(※ビジネスでもそうですよ。

リアル店舗で商売をする場合なら、

「損失が出る確率が低くなるような根拠」がないで

出店したら負けるってことです)

それでこうやって「ストップまでの距離に沢山の障壁」

を儲けて投資を継続するわけですが

そうすると・・・やはり資産って増えちゃうんですね。

増えたうれしい～っていうよりは

増えちゃうって感じです。

そんなの海外の物価安いところにいたら使いきれない

くらいの感じで増えちゃうわけです。

それは数字というものの必然性です。

だから今号で書いてることってのは

今稼げていない人にとってはめっちゃ重要なんですけど、

結局上のことを意識し続けられるか？どうかなんですね。



逆に上の話が分かっていたら単なる数字の必然で

~~~~~

お金の数字は増えていくわけですから、

~~~~~

そういう意味で知っておくのは大事ですね。

~~~~~

逆にですが、

リスクリワード1 : 2の場合

損きり100 PIPS 利益確定200 PIPSとした場合

「損きり100 PIPSまでの距離の間に、

機能することが期待できるサポート根拠が2つあって」

なおかつ

「利益確定200 PIPSまでの距離の間に

機能することが想定できちゃうレジスタンスとなりそうな

邪魔な根拠が2個3個といくつもある」

場合・・・

これはやはり問題ですよ。

ちなみにこんな状況ってのは大きなダウのトレンド、

すなわち月足レベルのトレンドに逆らってるときの

ポジションで良く出てきてしまう状況ですよ。

例えば、大きな時間足では、月足レベルで上昇トレンド、

の場合、

そこで押し目で買うってのはよくやられるわけですが

その場合って・・・

「下にめっちゃ色々なサポートがある」のが通常です。

例えば100 PIPSでも損きりまでの距離をとって

利益確定200 PIPS狙う場合だと

「100 PIPSの間に機能しそうな水平線やら

フィボナッチやら色々重なってくる」ものです。

大きな時間足のトレンドに乗っかる場合だと

上記のような 上にも下にもごちゃごちゃする

なんてのはあまり起こりづらいのですが

実は多くの方は損きりと利益確定のポイントを設定するときに

これをやってしまってるわけです。

逆を言うと上記のようなことを意識して

買いの場合、

~~~~~

「損きりまでの距離の間にはいっぱいサポートやらで

~~~~~

価格到達をするのを邪魔する要素が沢山ある」ようにして

~~~~~

一方

「利益確定ポイントまでは特に重要なレジスタンスがない」

~~~~~

みたいな状況で設定できるときだけ

~~~~~

勝負するってのが良いわけですね。

~~~~~

そうしたら単純に負ける確率が圧倒的に下がるわけで

結果としては勝率が上がるという仕組みです。

それでこれが「確率を歪める」っていうところなんですが

本来ランダムに リスクリワード 1 : 2 のトレードをやったら

33%の勝率で負ける確率が66%なんですが

それを損きりまでの距離に色々障壁があるような

歩インドに絞り込んで、もしくは

損きりポイントをそのような場所に故意に設定して

「負ける確率をいじる」ってのが大事なわけですね。

そうすると、確率必然的に負ける確率が減って

結果として勝率が上がる、という「だけ」なんです。

この「だけ」ってのが重要なんですが

これにたどり着くまで多くの人は資産を失うわけですが

これに気づくと・・・もうお金関係は困ることが

ないわけですね。

確率を「その人間の都合のよいようにいじった人が勝つ」

んですね。

だから今日は件名で

Q:【リスク1万円リワード2万円の場合の勝率は?】(理論値で)

としましたが、

実のところ、その場合は理論値は33%ですけど、

そして負ける確率は66%なんですが

この「負ける確率」に注目するのが大事で

そして損きりまでの障壁を多く設ければこの負ける確率は

減らせるのだから

そういう勝負の方法をすれば

確率を故意にゆがめられて

それで確率必然的に儲かる確率が急上昇する

ということです。

その確率操作のために

ダウ理論やらエリオット波動やらグランビルやら

ハーモニックパターンやらプライスアクションやら

ライン分析が

極めて機能しやすいってだけです。



この考え方にたどり着くまでおそらく多くの人は

長い年月をかけるんだけど

今の時代はこうやってネットで知ることができるわけですから

そういう時代の利も生かす人が結果としては勝ちますね。

ということでこの「確率を故意にゆがめた人が勝利する」

ってのは人類の歴史でもありますので

それは投資やビジネスでもまったく同じことでありますから

是非この視点を持ってあなたも考えてみてくださいね！

それで検証するのはまさにそういう考え方を適用して

やると効果があがるものなので、

**「ストップまでの距離にいっぱい障壁があつて**

**利益確定までの距離にあまり障壁がないようなトレードルール」**

なんかを作ってみると

結構はまるものです。

上の MA サポートされたピンバー、

つてのはその一例ですが

結構いくらでもあります。

それで重要なのがやはり

「勝ちより負けから見る」わけで

負ける確率を減らすためには？という視点が

大事ってことで

この視点でのみ、確率操作を、

パチンコの出玉の確率を調整する

パチ屋のオーナーを超えるレベルでできてしまう

ってことですね。

基本的には「本来の理論値の確率をいじくる人が勝つ」

ってのが お金周りの勝負事の基礎なので

この辺を意識すると（当然）負けづらくなって

結果勝ちやすくなってお金という人生の手段が

得られるわけです。

それでは！

ゆう

追伸・・・ちなみに投資やビジネスで儲ける

=戦争で負けないで勝つ

のと似ているんだけど、

だから戦争論なんかも色々キレイゴト抜きに

私は平和主義者だけでも読んだりするけど

面白いのはナポレオンの考え方です。

ナポレオンって何度も「これは勝てねーだろ」っていう

戦いを最終的には制したんだけど・・・

あの歴史上のナポレオンが「何していたか」知っていますか？

あの人は結局「負ける確率を極限まで下げるために」

自分たちの軍隊に「あらゆる知識を持つあらゆる職業の人」

を同行させたんですよ～

これ、あなたが稼ぐとしたらあなたも将軍だから

意識しましょう。

私たちは・・・小さな将軍だ！

(北朝鮮の将軍様じゃなくて、

欧州の将軍をイメージしてください、笑)

それでこのナポレオンのすごいところは

当時の 占星術師とか、あとは測量士、あとは芸術家、歌手、

学術経験者・・・

もうあらゆる職業の人を自分の軍隊に帯同させたんだけど

そこで「負ける確率」を減らして

「ありえない奇跡」をなんども起こしてるんですよ。

が、「奇跡」って怪しいですが奇跡ってなんだろう？

奇跡ってのは「確率が歪んだ状態」のことだ。

だから 投資やビジネスで貧困から富裕層に這い上がるってのも

奇跡ですが

実はナポレオンが意識したのは

「確率を歪ませること」なんです。

だから様々な職業の人の知識を利用して

確率を歪ませまくった、のがナポレオンという天才です。

それで結局、彼はありえない戦いを勝ちまくってしまうわけで

それはまるで天が彼に味方してるとしか思えない状態が

連続したんだけど、

実はこれは億を個人で稼ぐ投資家やビジネスマンたちが

経験してることと一緒にして

「確率を知識を使って歪ませた」ことによってそういう

ナポレオンの快進撃が起こったんですね。

それで、これは私たちはナポレオンではないけど

将軍ですから、

そこで、確率を歪ませる行動をとると良いんですね。

ストップ一つ入れるだけでも何も根拠なしに単なる安値、

でストップ入れたら、確率は理論値以下になるだけですが

そこで「ストップまでの距離に障壁がいくらかもある」状態だと

確率はゆがめさせられるわけです。

これは株でも一緒に



例えばバフェットの場合は損失確定は企業が倒産したとき、

だったりしますが

ただ企業倒産ってのはぶっちゃけ、

大体が 1 消費者独占型企业 2 コモディティ企業の

2 コモディティ企業で起こるんですよ。

だから 2 を避けて 1 の消費者独占型企业だけに絞る。

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

**【億万長者バフェット学】**

**PDF【資産10兆バフェットは大衆投資家が暴落で焦ってるところで買う】**

**(億万長者バフェット学)**

**[http://fxgod.net/pdf/buffet\\_theory1.pdf](http://fxgod.net/pdf/buffet_theory1.pdf)**

**PDFレポート**

**【億万長者のバフェットが避けたがる**

**「コモディティ型企業」について知る！】**

**(億万長者バフェット学)**

**[http://fxgod.net/pdf/buffet\\_theory2.pdf](http://fxgod.net/pdf/buffet_theory2.pdf)**

**PDFレポート【投資したら損する「コモディティ企業」を**

**バフェットが見分ける「7つの基準」とは?】**

**(億万長者バフェット学)**

**[http://fxgod.net/pdf/buffet\\_theory3.pdf](http://fxgod.net/pdf/buffet_theory3.pdf)**

PDF【バフェットが愛する「消費者独占型の企業」とは何か？】

(億万長者バフェット学)

[http://fxgod.net/pdf/buffet\\_theory4.pdf](http://fxgod.net/pdf/buffet_theory4.pdf)

PDFレポート

【バフェットが「消費者独占型企業」を見極める

3つの方法とは？】

[http://fxgod.net/pdf/buffet\\_theory5.pdf](http://fxgod.net/pdf/buffet_theory5.pdf)

PDFレポート

【バフェットが株を仕込む際に見る「ROE 15%基準」とは？】

[http://fxgod.net/pdf/buffet\\_theory6.pdf](http://fxgod.net/pdf/buffet_theory6.pdf)

## PDFレポート

【「バフェットが消費者独占型企業を  
割安かどうか見抜く計算式」とは？(億万長者バフェット学)】

[http://fxgod.net/pdf/buffet\\_theory7.pdf](http://fxgod.net/pdf/buffet_theory7.pdf)

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

これやると、だからなかなか損失とならないわけですね。

長期保有になると特に。

だからバフェットもナポレオンと同じで

「確率を歪ませる方法を知ってる人、」

です。

それでこの辺が分かっていると、人生はあくまでも

時間軸に沿って展開するため

確率が機能するのが人生なので

人生の確率を自分でかなり操作できるので

面白い人生になりやすいわけです。

ということで、是非上の確率で考えて

その「確率をあなたの優位なように働かせるためには？」

と考えるとよいでしょう。

では！



**【音声プレゼント】資本主義でお金持ちになる人は実験をする  
「研究者思考」を持っている？**

**MP3音声の直リンク**

⇒ [http://fxgod.net/onsei/present/kenkyusha\\_shikou.mp3](http://fxgod.net/onsei/present/kenkyusha_shikou.mp3)



**【資本主義下の『お金の増やし方』】  
についての音声 MP3**

⇒ <http://fxgod.net/onsei/business/okanenofuyashikata.mp3>

(MP3 音声なのでスマートフォン等でも再生できると思います。

30分くらい)



☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

【ゆう音声プレゼント】

【「負けない技術」について考える！】



[http://www.fxgod.net/a/groups/2522992/makenai\\_skill\\_mp3/](http://www.fxgod.net/a/groups/2522992/makenai_skill_mp3/)

(MP3 音声です♪スマートフォンでもお聞きいただけますので  
気軽に聞けるように後ろに BGM も入れておりますので  
移動中や寝る前などなど、好きなときにお聞きください♪)

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆